

Alw44I

I. 認識配列

5'.....G▼TGCA C.....3'
3'.....C ACGT▲G.....5'

II. 保存

-20℃

III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 μl 中、1 μg の λDNA を 37℃、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

IV. 起源

Acinetobacter lwoffii RFL44

V. 形状

50 mM KCl
10 mM Tris-HCl (pH 7.5)
0.1 mM EDTA
1 mM DTT
0.2 g/ml BSA
50% Glycerol

VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 37℃
・バッファー : L
+BSA

10 mM	Tris-HCl (pH 7.9)
10 mM	MgCl ₂
1 mM	DTT
0.1 mg/ml	BSA

VII. 添付品

・10 x L Buffer (黄色ラベル)
・1 mg/ml BSA Solution
添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。
制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	75	50	<5	50	25

IX. 純度

本酵素 20 units と 1 μg の λDNA を 37℃ で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

X. 結合試験

本酵素で完全に切断された λDNA フラグメントの 95% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 100% が本酵素で再切断される。

XI. 備考

- ・ 酵素反応の際には、反応バッファーの他に別添付の BSA (1 mg/ml) を反応容量の 1/10 量添加する。
- ・ 反応バッファー別相対活性表は、BSA を反応系に加えていない。L Buffer に BSA を添加した場合の相対活性は 100% である。
- ・ 制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。